

平成 31 年度 福井大学教育学部  
入学者選抜学力検査問題（後期日程）

小 論 文

学校教育課程（特別支援型）

注意事項

- 1 この用紙は、「解答始め」の合図があるまで開かないこと。
- 2 「解答始め」の合図の後、解答を始める前に、解答用紙の所定の欄すべてに受験番号を記入すること。
- 3 解答は、解答用紙の所定の解答欄に収まるように記入すること。
- 4 解答用紙のホッチキスは外さないこと。
- 5 解答の下書きには、別配布する白紙を使用すること。
- 6 試験終了後、解答用紙を回収する。この問題用紙と下書き用紙は持ち帰ってもよい。

（7枚のうち第1枚目）

**第1問**

次の文章は障害をもったある芸人が書いたものである。これを読んで、設問1と設問2に答えなさい。

著作権の関係上、この部分は公開しておりません。

（7枚のうち第2枚目）

著作権の関係上、この部分は公開しておりません。

（7枚のうち第3枚目）

著作権の関係上、この部分は公開していません。

（ホーキング青山『考える障害者』による）

（注）S1 漫才、コントなどネタのジャンルや芸歴を問わずに、映像作品でエントリーする  
お笑いコンテスト

**設問1** 筆者は「障害」をどのようにとらえているのか、筆者の意図に沿って読み取り、述べなさい。

**設問2** 障害者と健常者が共に暮らす社会であるために必要なことは何か、あなたの考えを述べなさい。

（7枚のうち第4枚目）

## 第2問

以下の文章は、並木博『個性と教育環境の交互作用』における研究知見を例にして作成した実験の概要である。文章を読んで設問1～3に答えなさい。

ある研究室では、教育方法について研究活動を行っている。研究室のメンバーの一人であるAさんは、次に示す内容の実験を行った。

まず、Aさんは、クラスには性格や考え方が異なる様々な生徒がいて、あるタイプの生徒にはある授業スタイルが合っているが、別の生徒にとってはその授業スタイルは合わない、といったことがあるのではないかと考えた。そこで、研究の目的として、学習者のどのような特性（性格や考え方における傾向）が、特定の授業スタイルと合うのか、あるいは合わないのか、ということを設定し、実験を通してこれを検討することとした。

Aさんは、ある学校での授業を取り上げ、学習者の特性として社交性を設定した。社交性とは、性格傾向の一つであり、他者とのつきあいを好み、コミュニケーションをとることにに対して積極的な傾向である。社交性が高い場合には、他者とのつきあいに積極的であり、低い場合には他者とのつきあいに消極的であるといえる。授業スタイルとしては、ペアやグループでの討論など、具体的なコミュニケーションを主活動とするものと、教師による説明と練習問題を解くことを主活動とするものを設定した。

2つのクラスを対象に実験を行った。両クラスとも生徒が30名ずつである。まず、事前に心理テストを用いて社交性を測定しておいた。この心理テストは、社交性の程度を数値で表すことができ、数値が高いほど社交性が高いと判断できる。社交性の測定結果は、低いものから高いものまで様々であった。また、実験協力者である教師には事前に2つの授業方法についてのトレーニングを受けてもらっておいた。教師は、同じ学習内容について、a: コミュニケーション中心の授業を1組で行い、b: 講義中心の授業を2組で行った。授業終了後に、学習内容について2クラス同じ内容の実力診断テストを行った。

Aさんは得られた結果を集計し、本実験で測定した社交性テストと実力診断テストの結果を表1に示した。また、これらの関係を図1にまとめた。なお、図1のグラフは、表1の1組におけるNo. 21からNo. 30までのデータが未記入の状態である。

平成31年度 福井大学教育学部入学者選抜学力検査問題（後期日程）  
小論文（学校教育課程・特別支援型） 問題用紙

（7枚のうち第5枚目）

表1 学習者の社交性，受けた授業のスタイル及び実力診断テストの結果<sup>1</sup>

1組				2組			
No.	授業スタイル <sup>2</sup>	社交性 <sup>3</sup>	実力テスト <sup>4</sup>	No.	授業スタイル <sup>2</sup>	社交性 <sup>3</sup>	実力テスト <sup>4</sup>
1	a	27	78	1	b	28	70
2	a	36	80	2	b	24	77
3	a	35	77	3	b	5	90
4	a	7	59	4	b	24	71
5	a	48	97	5	b	36	70
6	a	32	79	6	b	48	50
7	a	45	88	7	b	12	88
8	a	15	70	8	b	33	70
9	a	44	93	9	b	45	52
10	a	47	96	10	b	32	68
11	a	15	63	11	b	34	69
12	a	10	63	12	b	35	65
13	a	29	75	13	b	19	81
14	a	17	60	14	b	26	67
15	a	25	69	15	b	15	81
16	a	23	68	16	b	45	59
17	a	20	66	17	b	8	89
18	a	27	67	18	b	33	60
19	a	12	59	19	b	39	55
20	a	34	86	20	b	46	58
21	a	36	75	21	b	21	87
22	a	38	88	22	b	22	75
23	a	34	83	23	b	30	67
24	a	4	54	24	b	37	59
25	a	6	55	25	b	5	96
26	a	30	80	26	b	18	88
27	a	42	79	27	b	31	73
28	a	3	50	28	b	4	97
29	a	29	75	29	b	38	65
30	a	19	69	30	b	16	80
平均値		26.3	73.4	平均値		27.0	72.6

1: このデータは，実際に行われた研究の知見を参考に作成されたデータである

2: a: コミュニケーション中心，b: 講義中心

3: 社交性の得点は，0点～50点の範囲を取る

4: 実力診断テストの得点は，0点～100点の範囲を取る

（7枚のうち第6枚目）

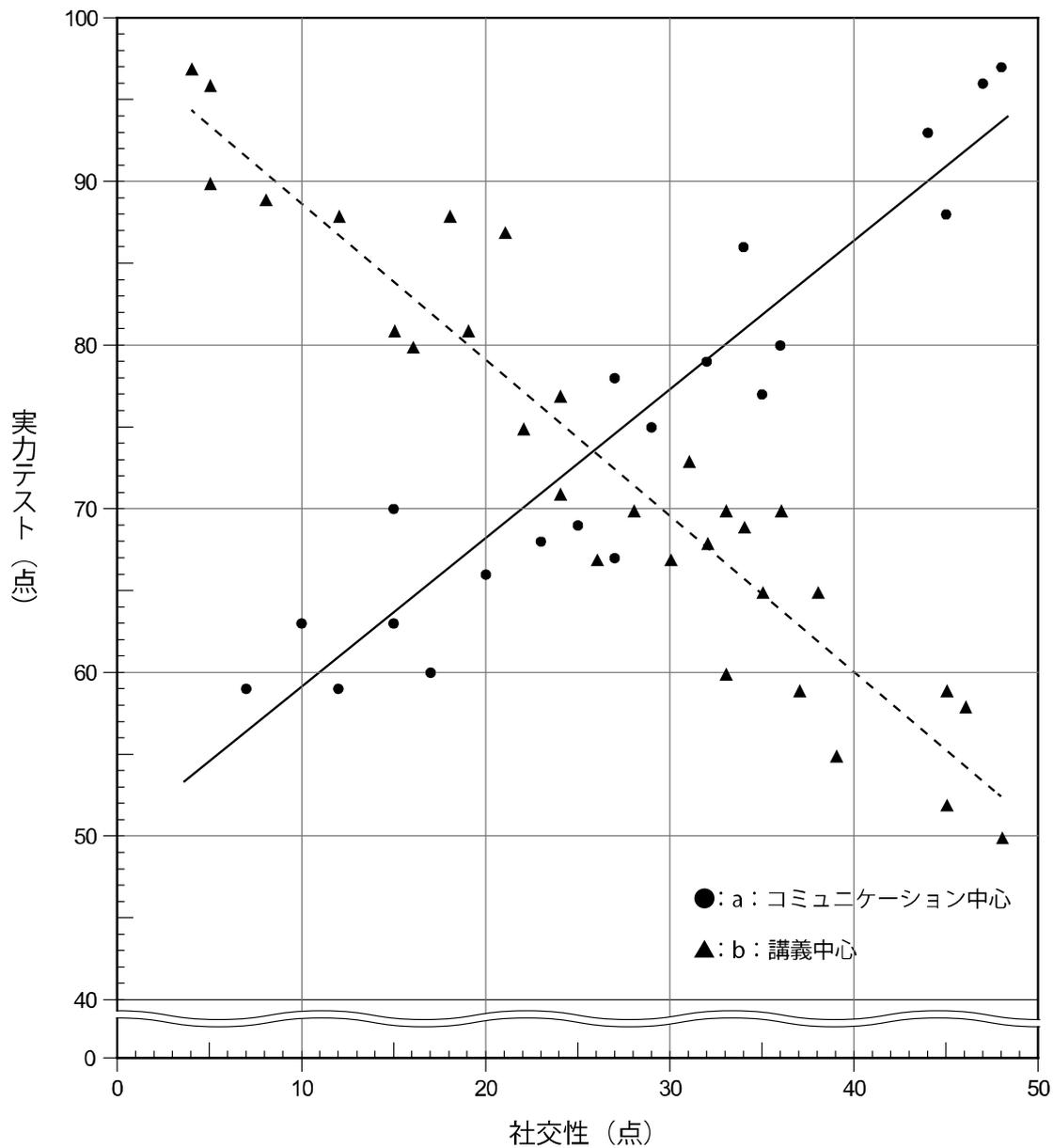


図1 学習者の社交性、受けた授業のスタイル及び実力診断テストのグラフ<sup>1</sup>

<sup>1</sup>: グラフ上に引かれた直線（実線・破線）は、データのバラつきの傾向を視覚的に分かりやすくするために引いた直線である

（7枚のうち第7枚目）

- 設問1** 表1のデータのうち、図1に未記入のデータをグラフに書き込んで図1を完成させなさい。なお、グラフの精度については高い水準を求めない。さらに、Aさんは、なぜ表1のデータを図1のグラフに表したのか、その理由を具体的に述べなさい。
- 設問2** 表1及び設問1で完成させた図1から読み取れることを述べなさい。
- 設問3** 設問1及び設問2を踏まえて、どのような授業の工夫を考えることができるか例を挙げて述べなさい。





受験番号

平成 31 年度 福井大学教育学部  
入学者選抜学力検査（後期日程）解答用紙

（4 枚のうち第 3 枚目）

小論文

学校教育課程（特別支援型）

第 2 問

設問 1 解答欄

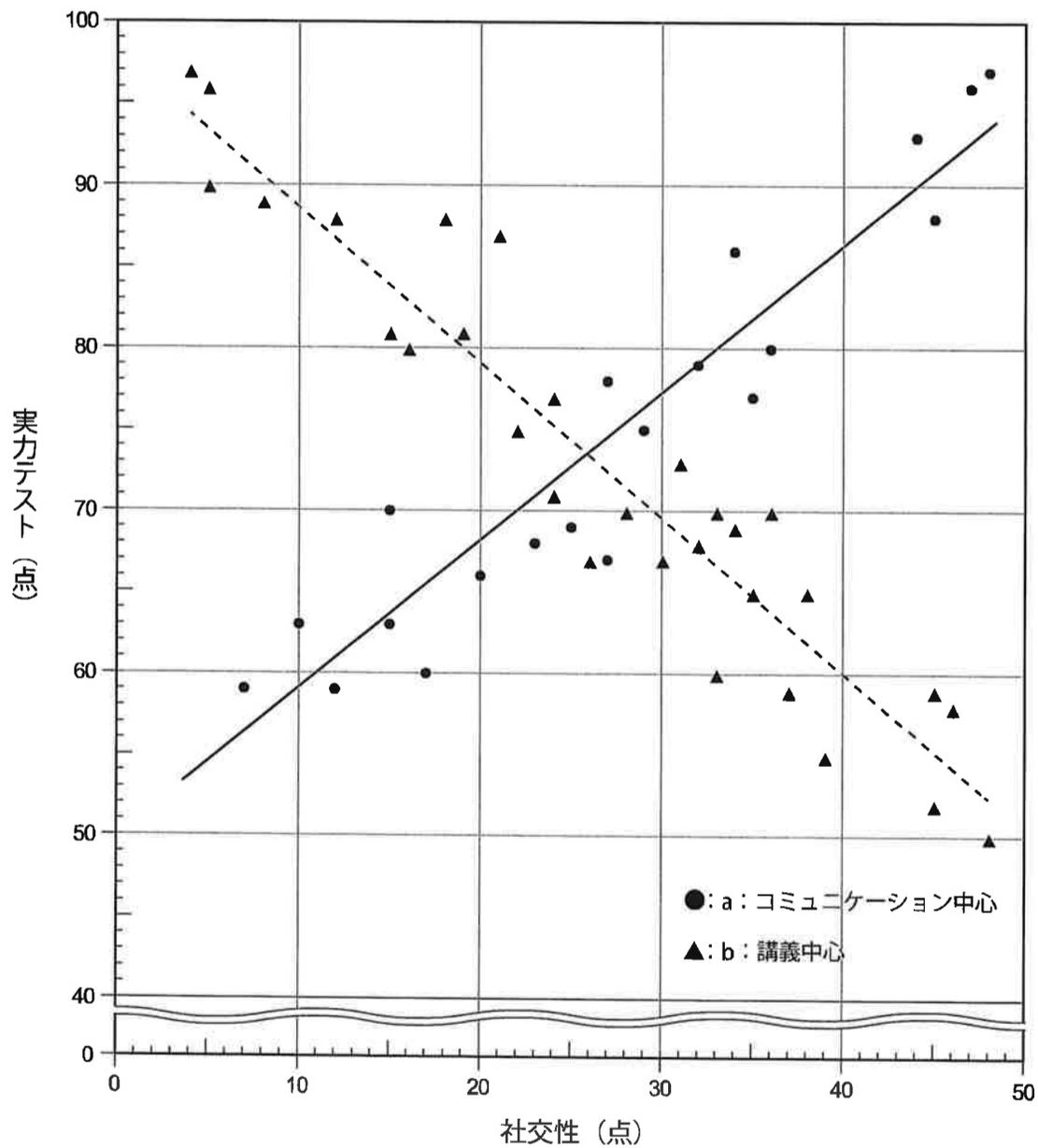


図 1 学習者の社交性、受けた授業のスタイル及び実力診断テストのグラフ 1

1: グラフ上に引かれた直線（実線・破線）は、データのバラツキの傾向を視覚的に分かりやすくするために引いた直線である

<理由>

---

---

---

---

---

